

【資料2】過去5年間のドームレス太陽望遠鏡共同利用状況（1）

2009年度 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

（2006年打上げのひので衛星との協同観測を重視した年で、学外研究者には限定公開）

限定公開期間：計 82 日間

利用者（実施順）：

花岡庸一郎（国立天文台）

4月 17日-4月 21日, 5月 19日-5月 23日, 10月 19日-10月 23日,

11月 14日-11月 17日, 3月 19日-3月 29日

「太陽観測用補償光学装置の実験」

「補償光学装置を利用したシーイング時間変動の観測」

「液晶遅延素子を用いたポラリメータによる多波長ベクトル磁場観測の試み」

三浦則明、横山文人 他（北見工業大学）

5月 22日-6月 1日, 8月 27日-9月 6日, 11月 4日-11月 14日

「補償光学装置の性能試験およびそれを用いた高空間分解能観測」

Lee Chung Woo(韓国 慶熙大学)

6月 1日-6月 3日

「太陽観測用補償光学装置の実験・開発」

末松芳法（国立天文台）

2月 8日-2月 12日

「マイクロレンズアレイを用いた3次元分光観測」

【資料2】過去5年間のドームレス太陽望遠鏡共同利用状況（2）

2010年度 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

公開期間: 4月 5日～7月 30日、9月 13日～12月 17日 (約 6ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計 67 日間

利用者 (実施順):

竹田洋一 (国立天文台) 10 日間

「ヨードセル法による太陽面精密視線速度観測に基づく差動回転の決定」

西川宝、小路真木子 (京都経済短期大) 5 日間

「 $H\alpha$ 線と $CaII$ 線によるスピキュール・スペクトルの同時観測」

三浦則明、横山文人 (北見工業大学) 25 日間

「垂直分光器用補償光学系の開発・最適化」

「multi-conjugate 波面センシング実験」

野澤恵、大井瑛仁、植松奈都美 (茨城大) 5 日間

「太陽浮上磁場領域の光球、彩層の速度場解析」

萩野正興 (国立天文台)、大井瑛仁 (茨城大) 7 日間

「飛驒・三鷹のスペクトロポラリメーター比較」

花岡庸一郎 (国立天文台) 10 日間

「太陽 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

末松芳法 (国立天文台) 5 日間

「太陽 2 次元分光偏光観測による光球・彩層微細構造ダイナミクスの研究」

【資料2】過去5年間のドームレス太陽望遠鏡共同利用状況（3）

2011年度 ドームレス太陽望遠鏡（DST）共同利用

公開期間: 4月 4日～7月 29日、9月 12日～12月 16日（約7ヶ月）

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計 64日間

利用者（実施順）:

三浦則明、宮崎順一（北見工業大学）、馬場直志（北海道大学）計 30日間

「新 AO 用 CMOS カメラのテストおよび垂直分光器用補償光学系の最適化」

「新 AO 用可変形鏡のテストおよび multi-conjugate 波面センシング実験」

花岡庸一郎（国立天文台）計 10日間

「 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

野澤恵、大井瑛仁、鈴木宏聡、黒髪英次郎、大川明弘、尾岸真彩美（茨城大）、
萩野正興（国立天文台）計 12日間

「太陽浮上磁場領域の光球、彩層の速度場、磁場解析」

末松芳法、佐野一成、篠田一也、大辻賢一（国立天文台）5日間

「2次元分光偏光観測による光球・彩層微細構造ダイナミクスの研究」

笠羽康正、坂野井健、黒田剛史（東北大）、石井（東京大）、金尾（JAXA）計 7日間

「2012年6月6日金星日面通過の分光観測のための試験観測」

【資料2】過去5年間のドームレス太陽望遠鏡共同利用状況（4）

2012年度 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

公開期間: 4月9日～8月3日、9月10日～12月14日(約7ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計63日間

利用者(実施順):

花岡庸一郎(国立天文台) 計10日間

「 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

笠羽康正、坂野井健(東北大) ほかに計7日間

「金環日食・金星日面通過を用いた月・金星ナトリウム大気成分の検出」

三浦則明、宮崎順一(北見工業大学)、馬場直志(北海道大学) 計21日間

「上空大気ゆらぎ層の高さの測定および multi-conjugate センシング実験」

「multi-conjugate 補償光学実験」

竹田洋一(国立天文台) 5日間

「スペクトル線強度の太陽面中心一周縁変化の観測に基づく NLTE 線形成理論の検証」

坂江隆志ほか(浦和西高校) 計5日間

「飛騨天文台 DST を用いた自作太陽分光器多波長スペクトロヘリオグラフの性能評価(太陽活動領域の2次元分光観測と月の岩石・大気による吸収の検出)」

野澤恵、大川明弘、澤田真平、宮脇駿(茨城大) 計15日間

「太陽黒点における振動現象の解析」

【資料 2】 過去 5 年間のドームレス太陽望遠鏡共同利用状況 (5)

2013 年度 ドームレス太陽望遠鏡 (DST) 共同利用

公開期間: 4 月 8 日～8 月 2 日、9 月 9 日～12 月 13 日(約 7 ヶ月)

京大以外の研究者への共同利用割り当て日数: 計 60 日間(約 12 週)

利用者(実施順):

三浦則明、大石歩、他(北見工業大学) 計 20 日間

「画像処理と補償光学による高空間分解能観測」

「multi-conjugate 補償光学実験」

竹田洋一(国立天文台) 計 5 日間

「スペクトル線強度の太陽面中心周縁変化の観測に基づく NLTE 線形成理論の検証」

加藤友梨、毛利直明、日比野由美(明星大)、大辻賢一(国立天文台) 計 5 日間

「分光観測によるエラーマンボムとそれに関連する噴出現象の研究」

安藤繁(東京大学)、桜井隆、花岡庸一郎(国立天文台) 計 5 日間

「時間相関イメージセンサによる高精度偏光観測の試験」

野澤恵、澤田真平、宮脇駿(茨城大) 計 5 日間

「プロミネンス磁場の時間変化の測定」

「NoRH との同時観測による彩層・コロナ磁場の導出」

末松芳法(国立天文台) 計 5 日間

「太陽 2 次元面分光観測装置による彩層微細活動現象ダイナミクスの観測研究」

渡部潤一、寺居剛(国立天文台)、古荘玲子(都留文科大学)、河北秀世(京都産業大学)、土屋智恵(総研大)、菅原賢(厚木市子ども科学館) 他計 8 日間

「ISON 彗星(C/2012 S1) 近日点通過前後における金属原子輝線の観測」

花岡庸一郎(国立天文台) 計 7 日間

「 $H\alpha$ など彩層吸収線の分光偏光観測による偏光生成層の物理の研究」

【資料3】近年のDSTを用いた学外向け天体観測実習の例

2011年度

8月1日～8月4日

東京大学地球惑星物理観測実習

8月19日

「理学系学部生のための太陽研究最前線体験ツアー」参加者対象太陽観測実習
(大阪大学、九州大学、千葉大学、茨城大学、日本大学、福岡大学、電気通信大学、
東邦大学 & 京都大学)

9月26日～9月30日

茨城大学4回生太陽分光観測実習

2012年度

4月23日～4月27日

茨城大学4回生太陽分光観測実習

7月24日～7月27日

東京大学地球惑星物理観測実習

7月29日～8月3日

浦和西高校SSH天体観測実習

8月28日

「理学系学部生のための太陽研究最前線体験ツアー」参加者対象太陽観測実習
(東京大学、名古屋大学、筑波大学、茨城大学、お茶の水女子大学、静岡大学、
& 京都大学)

2013年度

6月18日～6月22日

茨城大学4回生分光観測実習

8月7日

「理学系学部生のための太陽研究最前線体験ツアー」参加者対象太陽観測実習
(東京大学、名古屋大学、東北大学、北海道大学、静岡大学、明治大学、明星大学
& 京都大学)

8月18日～8月21日

明星大学・浦和西高校合同天体観測実習